

令和4年度平塚市子ども・子育て会議
第1回全体会議 会議録

日時：令和4年7月1日（金）午後2時～午後3時

場所：平塚市青少年会館 2階 集会室

1 議題

(1) 子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画（ひらつか子育て応援プラン）の概要について、資料1に基づき事務局から説明した。

子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて、資料2及び内閣府から示された資料3「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しのための考え方について」に基づき、事務局から説明した。

見直しの基準となる令和3年4月1日時点での教育・保育給付認定区分ごとの人数の実績と市町村計画（ひらつか子育て応援プラン）における量の見込みに10%以上の乖離はないものの、実績から将来を予測すると乖離率が大きくなることが見込まれることから、令和4年度に中間年の見直しを行う。

続いて、令和4年度の子ども・子育て会議の開催予定について、資料4に基づき説明した。

【質疑応答は次のとおり】

会 長：資料2で示している令和5年度、令和6年度の見込み値については、例として示しているもので、その他にも精査して必要であれば見直すという考えでよいか。

事務局：お見込みのとおりです。

会 長：議題（1）について、了承とする。

(2) その他

事務局から、母子保健事業における令和4年度の新たな取組を紹介した。（健康課）

令和4年7月から、産婦健診への助成を開始する。助成額は3,000円、利用は1回のみを予定している。対象は、7月1日以降に生まれたお子さんで、出産した産科で産婦健診を受けていただくことになる。産婦健診は、産後のうつが非常に大きな問題となっていることから、健診による早期発見と支援につなげることを目的としている。

続いて、乳幼児健診の3歳児健診において、子どもの目の検査を7月から開始する。スポットビジョンスクリーナーという機器を用いることで、子どもの弱視や斜視といった目の異常について、確認することができるようになる。こどもの目の発

達は、6歳から8歳までに確立してしまうことから、それまでに早期治療をすることが非常に大事である。従来の保護者への問診や視力の検査では、目の異常を見落としてしまうこともあったため、今回機器を導入したことで見落としを無くすことができると期待している。

もし、検査で異常が確認できた場合は、医師から精密検査を受けられるよう病院を紹介できるようになっており、早期発見、早期治療につなげることができると考えている。

【質疑応答なし】

出席者：落合会長、黒田副会長、金田委員、中村委員、白川委員、山田委員、梅本委員、古川委員、杉山委員、三宅委員、横山委員、藤森委員、島袋委員、大澤委員

傍聴者：1人

事務局：健康・こども部長、保育課長、こども家庭課長、健康課長、青少年課長、保育課5人、学務課1人、教育総務課1人

以 上